

(一社) 日本道路
建設業協会
沖縄支部

支部だより

平成 25 年
1月1日(火)
第 17 号
新春号

会員
だより



新プラントは本部町の玄関口！

【報告】取締役工場長
岸本 成雄

支部会員の皆様、新年おめでとうございます。
私は、プラントに勤務し約38年になります。今回は、当社のAs合材プラントについて紹介致します。

昭和48年に初代プラント日工製を設置し、As合材の製造販売を行ってまいりました。平成23年度に現在のリサイクルユニットを設置した本格的な併設式プラントを新設し、As合材の製造を行っております。

プラントも、時代と共に変化・進化し、とても使い勝手が良くなりました。メーカーとネット回線で繋がれ、トラブル時には、プラントの状況をメーカー側で細かく確認し、迅速で的確な対応が出来るようになりました。操作も容易でパソコンで行います。便利な時代になったものです。

当工場は、海に隣接しているため、再生材投入ベルコンやダンプトラックの荷台には、石油の油類等を使用せず、植物性のAs付着防止剤を使用する等環境対策にも努めております。また、観光客の往来

沖縄道路 株式会社

代表取締役社長 宮里 三男

が多い国道449号沿いを週に一度、清掃活動を行っております。さらに、工場は本部町の玄関口に位置していることから、壁面に「美ら島沖縄 + 安全運転 ようこそ本部町へ」の歓迎の文字でお迎えしております。

これからもお客様のニーズに応えられるよう頑張っております。今年も宜しくお願い致します。



工場も歓迎の心でお出迎え！

会員
だより



情報化施工(ICT : Infomation and Communication Technology)の紹介！

明けましておめでとうございます。

ここでは、昨年より沖縄総合事務局の発注条件に取り入れられた情報化施工について、ご紹介したいと思います。

情報化施工とは、情報化技術を活用し、建設機械を自動制御することで、生産性や安全性の向上、品質の確保を図ることを目的としたものです。

当社では2000年に、3次元設計データにより建設機械を制御する3次元マシンコントロールシステムを導入し、全国展開を図るなど『より良いものを、より早く、より安く』提供するための取り組みを続けています。

沖縄での当社施工実績は、技術提案として路盤工(モータグレーダ)施工の2現場ですが、今後多様化すると思われ、沖縄の技術の向上に少しでも貢献できればと思っております。

当社3D-MC制御建設機械ラインナップを以下の写真にて紹介します。



●ブルドーザ ●モータグレーダ ●アスファルトフィニッシャ ●スリップフォームペーパー ●切削機 ●転圧管理システム

活動報告・トピックス

今年もどうぞ
宜しくお願い
致します。



①平成24年度安全パトロール 「無事故・無災害」を目指して！

安全委員会(平田安則委員長)は、平成24年12月7日(金)に平成24年度安全パトロール(第15回)を実施しました。

今回は、安全に対する更なる意識啓発と取り組みの強化のため、発注者である南部国道及び北部国道からも参加して頂き、合同で点検を行い、年末年始の事故防止の喚起を行いました。

パトロールは南北の2班体制で行い、南部班は平田安全委員長を点検実施者として、安全委員5名、点検補助者1名の計7名で、与根地区の高架橋下部工工事や中山トンネル工事など6件の点検を実施しました。また、北部班は國場幸尚安全副委員長を点検実施者として同体制の7名で、左手地区の道路改良等3件を実施しました。当日は、穏やかな小春日和の天気に恵まれ、また、各現場のご協力、対応により、点検を円滑に実施することが出来ました。お礼を申し上げます。

各現場の安全管理状況は、点検項目すべてに於いて総じて良好であり、関係者の安全に対する意識が高いことがうかがえました。

しかし、細部に於いては、改善の必要があると思われる箇所も見られたことから、直接、現場に於て指導、助言、改善を指示しました。

今後とも、各現場が「無事故・無災害」で竣工することを願って、安全パトロール報告とします。



「点検実施状況」
「平成23年度中山トンネル工事(株)國場組」

「点検実施状況」
「平成22年度佐手地区道路改良工事(株)屋部土建」



今月の主な活動予定

- H25 年度新春講演会及び道路建設懇談会
 - 日時：1月10日(木)
 - 場所：ザ・那覇テラス3F「アダン」
 - 講師：新 沖縄局 開建部 企画調整官
- 第77回道路美化・清掃活動〔後半 Guru〕
 - 日時：1月15日(火)
 - 場所：旭橋～山下間(R58号、R331号)

②第76回 道路美化・清掃活動

新年には「福」がやってくる！

第76回道路美化ボランティア活動を昨年12月18日(火)に実施しました。

今回は、年末一師走で、各社とも大変忙しい時期にもかかわらず、今年最後の活動と言うことで、多くの方々の参加がありました。ごみ拾いの箇所は護国神社の入り口にもあたっており、初詣の参観者も気持ちよく新春を迎えたことと思います。

本活動は地道な活動ではありますが、見ての通り回を重ねる毎に着実にゴミは減っています。良き行いの神様からの褒美は「福」となって報われます。今年も会員一同で勢を出していきましょう。



「張り切りすぎてはぐれてしまいました」

「H24年最後の成果です！成果は着実にあがり、ゴミは減っています。」

編集後記

企画・広報委員長
座波 隆司

昨年は、沖縄では多くの超大型台風の襲来による被害がありました。尖閣や竹島の領土問題、ヨーロッパの経済不安、笹子トンネルの天井崩落事故など暗いニュースが多くありました。しかし、スカイツリーの開業や山中教授のノーベル賞受賞等明るい話題もありました。その中で、我々道路業界に携わる者にとって明るいのは、景気浮揚の投資の建設国債を発行するという自由民主党の圧勝で幕を閉じた年末の総選挙ではなかったでしょうか。右肩下りの建設投資が終わりを告げる事と考えます。

さて、私個人としても慌ただしい一年でしたが、振り返ってみると大変充実した一年ではなかったかと思えます。皆様はどういう平成24年だったでしょうか。新年を迎えた今、新たな決意を持ってスタートしたいと思います。新米の企画広報委員長ですが、これからも会員への情報発信、会発展のための企画立案を充実させていきたいと思っておりますのでご協力ご助言を賜りますようお願い致します。

